

## 令和6年度 第1回地域医療推進部会議事録

1. 日 時 令和6年10月18日(金) 第1回帯広市健康生活支援審議会終了後  
20:00~20:30
2. 場 所 帯広市役所 10階 第2会議室
3. 出席委員 稲葉 秀一 部会長、大滝 達哉 副部会長、増井 信也 委員、中村 貴徳 委員、  
池添 博彦 委員、住谷 晋 専門委員、岡山 有美子 専門委員、小岩 幹 専門委員、  
結城 和美 専門委員

### 4. 会議次第

- (1) 部会長選出
- (2) 副部会長選出
- (3) 前回会議の議事録(案)の確認
- (4) 令和5年度 健康推進課決算について
- (5) 令和5年度 保健事業について
- (6) 令和5年度 休日夜間急病センター実績について
- (7) その他

### 5. 会議内容

#### ○事務局

こんばんは。

定刻となりましたので、始めさせていただきます。

開会に先立ちまして、委員及び専門委員が改選され、初めての会議となります。新しい委員・専門委員の方もいらっしゃいますので、私の方からお名前を読み上げますので、その場でご起立いただければと思います。

《 各委員・専門委員 自己紹介 》

#### ○事務局

次に、地域医療推進部会を担当する市民福祉部の職員を紹介させていただきます。

《 事務局職員 自己紹介 》

#### ○事務局

それではただ今より、令和6年度第1回地域医療推進部会を開会いたします。

本日の委員の出席は、地域医療推進部会、委員9名中9名のご出席をいただいております。出席人数が委員の過半数を超えていますことから、本日の部会は成立しております。

委員、専門委員の改選により部会長が不在になりましたので、部会長が選出されるまでの間、私が進

行役を務めさせていただきます。

部会長の選出は、帯広市健康生活支援審議会条例施行規則第3条第4項の規定により、当該専門部会に所属する委員及び専門委員の選挙により定めることとされています。

早速ですが、部会長の選出方法をどのようにすべきか、お諮りいたします

◎委員

指名推選はいかがでしょうか。

○事務局

ただいま指名推選のご提案がございましたが、部会長の選出は、指名推選によるものとしてよろしいでしょうか。

【異議なし】

○事務局

それでは、どなたか指名推選をお願いいたします。

◎委員

帯広市医師会の所属である、稲葉委員を推薦します。

○事務局

ただいま、部会長に稲葉委員との推選がございました。他にございませんか。

【他に推選なし 異議なし】

○事務局

ご異議なしということで、部会長は稲葉委員をお願いいたします。  
それでは、稲葉委員、部会長の席に移動願います。

○事務局

部会長から、一言ご挨拶をお願いいたします。

◎部会長

引き続き地域医療推進部会 部会長をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局

これより議事進行は、部会長をお願いいたします。

◎部会長

副部会長の選出についてですが、帯広市健康生活支援審議会条例施行規則第3条第6項の規定により、副部会長は、当該専門部会に所属する委員及び専門委員の中から部会長が指名することとされています。

規定により、私から副部会長の指名をさせていただきます。

副部会長には、大滝委員を指名したいと思います。大滝委員、皆さまよろしいでしょうか。

#### 【指名受諾】

#### ◎副部会長

よろしく願いいたします。

#### ◎部会長

それでは、次に「前回の会議の議事録(案)の確認について」を議題といたします。この議事録は、この場でご確認いただいた後、公開される予定となっております。議事録につきまして、ご質問やご意見があればお願いします。

#### 【質疑・意見なし】

#### ◎部会長

なければ、議事録は了承されたものといたします。

#### ◎部会長

次に、「令和5年度健康推進課決算について」を議題といたします。事務局から、説明願います。

#### ○事務局

令和5年度健康推進課関係決算の概要について、説明させていただきます。お手元にある「資料1」をご覧ください。総事業費は14億9,301万2,189円でございます。内訳ですが、まず資料左側「保健衛生総務費」は決算額4億1,869万8,631円となっております。主な事業といたしましては、「保健衛生推進費」として、健康まつりの負担金、難病連十勝支部の事業への補助、健康づくりガイド作成、AED賃貸借、心身障害者歯科治療費補助などのほか、「食・運動改善推進費」として、食生活改善推進員と健康づくり推進員の養成及び育成、各種教室の開催等、また、「公衆浴場対策費」として、市内の公衆浴場の確保のための各種事業への補助、ふれあい銭湯事業補助等を実施いたしました。

次に「訪問看護促進費」として、北海道総合在宅医療ケア事業団の会費、「健康増進センター管理費」として、大正と川西の健康増進センターの運営管理、「看護師等養成機関確保対策費」として、十勝管内19市町村で運営している高等看護学院の運営費分担金、市内に2箇所ある看護師養成機関に対する補助、「帯広厚生病院運営費補助事業費」として、管内19市町村による帯広厚生病院の運営支援を実施しました。

なお、妊婦・乳幼児健康診査費、母子保健相談指導費、心の発達支援事業費、食育推進事業費については、従前より児童育成部会で説明していることから、当部会においては、決算額のみお示しすることとさせていただきます。

次に、資料中央の「予防費」につきましては、決算額8億7,888万7,594円となっております。

主な事業といたしまして、「がん検診・健康診査費」として、各種がん検診、肝炎ウイルス検診、市民健康診査、骨粗しょう検診等に要する経費など、「予防接種費」として、各種定期の予防接種費用、「感染症予防費」として、65歳以上の高齢者等及び中学3年生、高校3年生に対する季節性インフル

エンザ予防接種、65歳以上5歳刻みの高齢者等に対する成人用肺炎球菌ワクチン予防接種、エキノコックス症検査、新型コロナウイルス予防接種を実施しております。

また、「結核予防費」として、結核検診、「健康相談費」として、保健師や栄養士などによる相談、「健康教育費」として、各種健康講座、スマートライフプロジェクトの推進、そして健康マイレージ事業を行っています。

また、「自殺対策事業」として、生きるを支える連携会議の開催や、多分野合同研修会の実施、「訪問保健指導費」として、保健師の個別訪問による保健指導、「保健・介護一体的実施推進事業費」として、後期高齢者を対象とした保健指導や健康講座、などを実施しました。

次に、「夜間急病診療費」は、決算額1億6,844万8,047円でございます。主な事業といたしましては、まず「休日夜間急病センター管理運営費」として、指定管理による休日夜間急病センターの管理運営を行っているほか、「救急医療対策費」として、在宅当番、二次救急医療、休日歯科診療業務、急病テレホンセンターなどの運営の委託、小児救急医療の補助を行なったものです。

最後に、保健福祉センターの管理運営に要する「保健福祉センター費」は、決算額2,697万7,917円となっております。

なお、この資料の数字横の矢印表記につきましては、前年度決算対比での増減を表しており、増減10%以上のうち主要なものにつきまして、これから説明をさせていただきます。

まず、左上の「保健衛生推進費」につきましては、10.6%の増となっております。こちらは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年度以降中止としておりました「健康まつり」を、通常開催したことや、健康づくりガイドの資材高騰により増加したものです。

次に、資料中央の「感染症予防費」については、51.7%の減となっております。こちらは、前年度と比較し、新型コロナウイルスワクチンの接種件数が減少したこと等が大きな要因となっております。

続きまして、資料右側の「休日夜間急病センター管理運営費」については、47.0%の減となっております。こちらは、指定管理者の利用料収入が増加したことに伴い、市からの支援金補填額が減少したものです。

以上で、令和5年度決算の概要説明を終わらせていただきます。

#### ◎部会長

ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

【質疑なし】

#### ◎部会長

なければ、質疑を終了いたします。

#### ◎部会長

次に、「令和5年度保健事業について」を議題といたします。事務局から、説明願います。

#### ○事務局

それでは続きまして、令和5年度保健事業についてご説明させていただきます。お手元の「資料2」の1ページ目「1. 保健福祉センターの利用状況」をご覧ください。

(1) 事業等の利用状況であります。表の一番下に記載しています合計数の利用者の推移につきま

して、令和5年度の利用件数は前年比約0.6%の増とほぼ横ばいですが、利用者数につきましては、新型コロナウイルスの集団接種会場として令和4年度から使用してはいましたが、その利用がなくなったことにより、17.5%の減となっております。

(2) 各種相談の利用状況では、相談内容により増減はありますが、ことばの教室に係る相談件数が多く、合計では、令和5年度より846人の増となっております。

続きまして、「2. 感染症などの予防」をご覧ください。

(1) 予防接種の実施状況は、ご覧のとおりとなっております。各予防接種の接種率については、後ほど「資料2-1」でご説明させていただきます。

(2) 結核検診の実施状況につきまして、15～39歳が結核検診、40歳以上の肺がん検診のX線検査の受診者数の合計となっておりますが、令和4年度に比べると132名の減となっております。

(3) 成人用肺炎球菌予防接種は、平成26年10月から定期接種化され、令和5年度までは経過措置により、65歳以上で5歳刻みの年齢の高齢者を対象に実施しております。令和5年度の接種率につきましては、後ほどご説明させていただきます。

(4) インフルエンザ予防接種は、中3、高3と65歳以上の高齢者等に対する接種事業を実施し、実績は記載のとおりとなっております。こちらも、接種率につきましては、後ほどご説明させていただきます。

(5) 新型コロナウイルスの予防接種については、生後6か月以上の方を対象に臨時接種を行いました。

(6) エキノコックス症検診については、前年比61人の増の受診者数となっております。例年受診者の多い「健康まつり」を令和4年度までは中止してはいましたが、令和5年度から開催したことにより増えたものと考えております。

では、予防接種の接種率につきまして、「資料2-1」をご覧ください。

まず、子どもの定期接種につきまして、生後の早い時期に接種を開始する、四種混合、ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、ロタ、BCGについては、安定して高い接種率を維持しております。

麻しん風しんワクチンは、年長児が対象となっている2期の接種率について95%を目標としており、年に2回、個別に勧奨通知を送付していますが、令和5年度の接種者率は90.5%となり、目標までは至らない状況となっております。

HPVワクチンについては、令和4年4月から積極的勧奨が再開となり、また、接種ができなかった方に対するキャッチアップ接種も開始したところですが、令和5年度の接種者数は前年度と比べると減少しております。

中段のB類予防接種につきまして、高齢者の肺炎球菌は、令和5年度までは特例措置により、65歳以上の5歳刻みの年齢で、過去に1度も肺炎球菌ワクチンを接種したことのない方が定期接種の対象となっております。令和5年度の接種件数は1,862件で、前年度と比較して接種件数、接種率ともに増となりました。

高齢者のインフルエンザにつきましては、年度により多少の増減はあるものの、高齢者人口の増により、対象者数、接種者数ともに、年々増加傾向にあります。前年度と比べると概ね横ばいとなっております。

下段の任意接種につきましては、受験生を対象としたインフルエンザワクチン接種費用の助成を行っているものです。こちらも年度により多少の増減はあるものの、少子化の影響により年々対象者数、接種者数ともに減少傾向にあります。

なお、合計の人数につきましては、今回は中3の接種者数が少し伸びていることから、微増となって

います。「資料2-1」の説明は以上でございます。

「資料2」2ページ目中段の「3.生活習慣病の予防」から説明を再開いたします。

(1)健康教育の実施状況について、令和5年度は実施回数、参加人数ともに新型コロナウイルスの感染拡大前の数に復調傾向がみられます。

(2)健康づくり講座・教室等については、歩数計機能付きスマートフォンアプリを活用している「健康マイレージ」事業は、令和6年3月末時点で4,458名が参加しています。

(3)健康相談については、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことに伴い、感染症に関する健康相談が減少したことにより、令和4年度より健康相談件数は減少になっています。

(5)検診の実施状況であります。受診者数はご覧のとおりとなっております。受診率の詳細につきましては、「資料2-2」に記載しておりますが、前年度と比べると、胃がん検診、肺がん検診を除き、受診率が上昇しております。

(6)検診・検査の実施状況健診事後指導については、令和5年度は524件であり、前年比62件の減となっております。

次に、「4.自殺対策」につきましては、関係機関や市職員等を対象に「家族から当事者へつなげるためのひきこもり支援」、「こころの病いのある人を地域で支える」をテーマに、多分野合同研修会を開催いたしました。その他に、ゲートキーパー養成講座やSOSの出し方教室を実施しました。

最後に、「5.救急医療体制に関する実施状況」であります。帯広市では、夜間・休日等における医療不安の解消と急病患者に対処するため、休日夜間急病センター運営事業や、医療機関の協力をいただき、在宅当番医制や二次救急医療体制を確立しております。利用状況等につきましては、ご覧のとおりです。休日夜間急病センターの実績につきましては、議事(6)で説明させていただきたいと思っております。

令和5年度の保健事業につきましては以上でございます。

#### ◎部会長

ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

#### ◎委員

新型コロナワクチンの予防接種の状況について、令和5年度の接種人数が減少している要因を教えてください。有料となったからでしょうか。

#### ○事務局

新型コロナワクチンについては、令和5年度まで自己負担はありませんが、令和4年度は3・4回目の接種等があったところであり、令和5年度は6回目接種は高齢者のみが対象、7回目接種は対象者が広がった等、年度により対象者にずれが生じたことも影響し、総接種回数が半減している状況となっております。

#### ◎委員

今年度の接種について、接種人数がさらに減少する可能性もあるのでしょうか。

#### ○事務局

今年度10月からは自己負担がありますので、接種人数はさらに少なくなる可能性があると考えられます。

◎部会長

補足としまして、今年度からの自己負担ありとなった新型コロナワクチンの接種状況については、来年度の資料で確認できますが、帯広市で把握できる接種者については、65歳以上の高齢者及び基礎疾患のある方のみとなります。

◎委員

エキノコックスの受診者について、検査で陽性になった方はいますか。

○事務局

全員陰性です。

◎委員

受診者数が少ないように思いますが、陰性とのことで安心しました。検査料金はかかりますか。

○事務局

広報やホームページで周知しておりますが、過去5年以内に検査を受けていない人を対象に、検査料300円で検査しております。

◎部会長

よろしいでしょうか。他にはいかがでしょうか。

◎委員

麻疹風しんワクチンの接種者率90.5%は、1歳児と年長児のそれぞれ何%となっていますか。

○事務局

1歳児が89.2%、6歳児が91.5%になります。

◎部会長

後はいかがでしょう。よろしいでしょうか。

なければ、この議題については終わらせていただきます。

次に、「令和5年度帯広市休日夜間急病センター実績について」、事務局から、説明願います。

○事務局

それでは、次に、「帯広市休日夜間急病センター実績について」ご説明いたします。お手元に配付の「資料3」をご覧ください。

休日夜間急病センターは、平成26年度に新築移転し、休日と夜間の初期救急を指定管理により運営しています。令和5年度の患者数の実績につきましては、夜間は、年間合計で4,317人と、前年度の約175%、下段の休日は、8,009人で、前年度の約217%となっております。

患者数が前年度より増加した要因としましては、新型コロナウイルス感染症が、昨年5月に感染症法上の5類に移行され、受診控えの患者が少なくなったことや、インフルエンザの流行などが影響しているものと考えております。

休日夜間急病センターの運営にあたっては、「運営専門会議」を設置しており、継続的に検討協議を行っております。

説明は、以上でございます。

◎部会長

ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

【質疑なし】

◎部会長

なければ、この議題については終わらせていただきます。  
次に、その他について、委員の皆様から何かありますか。

【質疑なし】

◎部会長

ないようですので、事務局の方からお願いします。

○事務局

次回の地域医療推進部会の日程につきましては、例年2月に予算等をご説明するため審議会の日程と併せて設定させていただいているところであり、具体的には稲葉部会長と調整のうえ、委員の皆様にご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

◎部会長

带状疱疹の2種類のワクチンについては何か情報はありますか。

○事務局

国の方で定期接種に向けて検討している段階です。

◎部会長

来年度からの带状疱疹の定期接種化については、国の予算立てや具体的な運用、自己負担については、未定ということです。

◎部会長

以上で予定されている議事は終了いたしました。本日は、これで閉会といたします。  
お疲れ様でした。